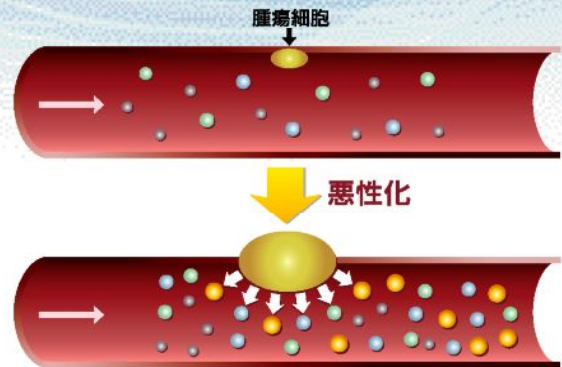


# 腫瘍マーカー検査 <TSGF法>

## ■ TSGF [腫瘍関連物質群]

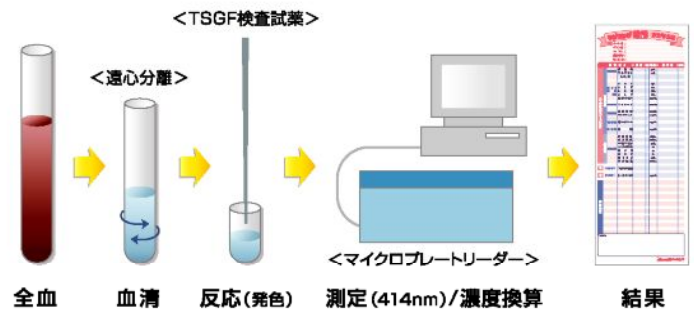
(Tumor Supplied Group of Factors)

腫瘍細胞が悪性腫瘍化する時に、TSGFであるアミノ酸類（フェニルアラニン・チロジン・水酸基プロリン）、糖鎖を構成する単糖類（N-アセチルグルコサミン・N-アセチルガラクトサミン・N-アセチルノイラミン酸・N-グリコシルノイラミン酸）、糖蛋白質（ $\alpha$ 1-酸性糖蛋白）などが増加し、徐々に血液中に拡散されます。



## ■ 検査方法 [生物化学反応 (バイオケミカル)]

血清にTSGF検査試薬を加え生物化学的に反応呈色させ、マイクロプレートリーダーによって波長414nmで吸光度を測定し検量線より濃度換算を行ないます。TSGF含有量を測定することにより悪性腫瘍の存在を検知します。



## ■ 検査要項

検査項目名	腫瘍マーカー検査 <TSGF法>	
検査材料	● 血清：1ml	【採 血】 完全空腹時（最後の食餌から断食状態で9時間以上空けて下さい） 【血清分離】 採血後、速やかに血清分離を行って下さい。（1時間以内を厳守） <b>注）乳ビ、溶血させないように注意してください。</b>
基準値	● 犬・・・陰性:<62 擬陽性:62≤~<71 陽性:71≤ (U/ml)	● 猫・・・ 治験中
感度と特異性	● 感度・・・ 77.8%	● 特異性・・・ 88.5% 治験中
所要日数	2~5日	
検知できる悪性腫瘍	肝臓腫瘍 肺腫瘍 乳腺腫瘍 甲状腺腫瘍 膵腫瘍 肛門腫瘍 骨肉腫 リンパ腫 その他悪性腫瘍 <b>注）発症部位を特定することはできません。</b>	
利用方法	● 診断補助・・・ 悪性腫瘍発症の有無確認（健康診断・診察） ● 判別補助・・・ 悪性か良性かの判別補助 ● 予後診断・・・ 術後や加療後の再発や転移の確認	
注意事項	● 末期がん・・・ 偽りの陰性を示す可能性があります。 ● 影響物質・・・ 血糖値が高値の場合、検査測定に影響を及ぼします。 ● 偽陽性要因・・・ 炎症性疾患、自己免疫疾患などに対し偽りの陽性を示すことがあります。	

## ■ ご注意とお願い

- 本検査は他の検査と同じく、診断を最終目的とした多くの検査の中のひとつであり、本検査の結果だけで悪性腫瘍の存在、病態の悪化、及び回復などを判断できるものではないことをご承知置き下さい。
- 診断は他の検査などと総合的に勘案して行なって頂きますよう、お願い致します。